

<様式3>

事業計画要旨(敷島公園)

1 申請者名		敷島パークマネジメントJV			
2 管理運営方針 (公益性)		<p>当JVが、これまでの管理運営を通じて“探究した設計者の想い”、“実感した地域の想い”、“体感した利用者の想い”を規範して、コンセプト、公園運営理念と公園運営方針を設定しました。</p> <p>前回設定したコンセプトを継承いたします。さらに、3つの公園管理運営の理念及び5つの公園管理運営方針を設定し、具体的な日常管理運営に関係づけを行った12のアクションを設定し、従業員一同で共有し、敷島公園の管理運営に努めます。</p> <p>●コンセプト</p> <div style="text-align: center; background-color: #e67e22; color: white; padding: 10px;"> <p>文化の杜 敷島 ～人・緑・文化を紡ぎ、育む～</p> </div> <p style="text-align: right;">【単位：千円】</p>			
3 収 支 計 書	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	総収入	215,537	215,753	216,401	
	内 訳	指定管理料	191,037	191,011	190,950
		その他	24,500	24,742	25,451
	総支出	215,537	215,753	216,401	
	自主事業収支	46	208	216	
4	サービス等を向上させるための取り組み	<p>当JVは、平成26年度の約2.6万人を集客した敷島公園まつりをはじめ、多様なニーズに応えるべき自主事業を展開してまいりました。これからも、「県内外の多くの方に敷島公園の良さ(魅力)を実感できる自主事業の展開」を図ります。これにより、利用者満足度及び利用者増を目指します。</p>			
5	広報広聴への取り組み	<p>当JVは、利用者増をはじめ、駐車場の課題などについて利用団体との協働し対応を行うため、「コミュニケーションツールとしての広報・広聴の拡充」を図ります。具体的には、IT機器を積極的に導入し、即時性及び具体性を高めた情報発信(広報)・情報受信(広聴)のためのコミュニケーションツールを拡充します。</p>			

6 県民との 協働計画	<p>当JVは、ソーシャルネットワークとの連携やボランティア、職場体験学習の受け入れ推進により多様な人や団体と協働により管理運営を行うため、「人と人を結び新たな利用者を発掘する県民協働の促進」を図ります。そして、敷島公園を核にしたネットワークを構築し、人と人を結ぶことで連携団体間の交流促進を図ります。</p>
7 組織体制について	<p>当JVは、群馬県前橋市に本社を置く(株)オリエンタル群馬を中心に、4社の専門家集団からなる共同体です。また、群馬県内の公園の指定管理実績を多数有する(株)グリーンクラフトマンをはじめ、地元企業の連携し、総合力による管理運営の向上に努めます。</p>
8 維持管理の 取り組み	<p>当JVは、竣工後20年以上を経過した施設が多いことから耐用年数の超過を経年劣化に対して、「予防保全」としてメーカーとの協議より対応を行うため、「利用者の視点にたった定量化、見える化による確実な維持管理の実践」をします。その内容のデータベース化をさらに進め、突発的にも対応を可能とします。</p>
9 組織運営について	<p>当JVは、2系統5課による機能（役割）を重視した管理運営体制とします。必要な資格や研修体制を明確にし、“人に応じた研修”を行うため、「個性（職務）にあった人材育成と目標達成型の管理運営体制の構築」します。</p>
10 知識・経験について	<p>当JVは、プロフェッショナル集団4社の共同体です。各社が有する知識経験（ノウハウ）を敷島公園の管理運営に活用するため、「有用で有益な知識と経験を受け入れる柔軟な管理運営体制の構築」をします。</p> <p>職員の外部研修をはじめ、他事例からの情報収集を行うとともに、効果が想定されることは柔軟かつ迅速に実践します。</p>
11 情報管理に 対する取り組み	<p>当JVは、「個人情報保護」「文書管理」「情報公開」を一体とし捉え、また、関連法令も含め、社会的責任のもと全職員の認識の共有化と理解促進を目的に、ミスのない運用するためのマニュアル等を策定しコンプライアンスの実践を図ります。</p>
12 安全管理への 取り組み ・事故、災害等緊急 時の連絡動員体制	<p>当JVは、想定されるリスクを踏まえた危機管理、安全管理マニュアルを作成し、事故や災害の事前予防に努めます。混雑時の駐車場対応などの日常時から、緊急時・災害時の適切な初動対応まで、これまでの経験を活かした安全管理を徹底します。</p>

13 環境管理に対する 取り組み	当JVは、「群馬県環境スタンダード認定制度」の認定を受け、省エネルギー、廃棄物の減量化及びグリーン購入等によりCO ₂ の削減に推進するため、「ゴミ等の資源化とエネルギーの有効活用による社会貢献としての環境管理」をします。また、「4つのR」をスローガンにゴミの資源化、エネルギーの有効利用に努めます。
14 各公園の課題に 応じた対応	<p>当JVは、本社サポートを含めた体制強化と高効率の資機材の投入により、複数施設の同時利用等にも適切な芝の品質を確保するため、「芝の特性を踏まえつつ、使用用途に応じた個別管理」を実践します。</p> <p>このため、各施設の芝の状態を定期的な診断により適切に把握し、要因に応じた個別対応を図ることで効果的かつ効率的な芝管理を図ります。</p> <p>また、当JVは、安全衛生点検等のハードの点検及び職員の安全対策のスキルアップ等の運用面の充実化により、機能的・効果的な安全対策を実行するため、「適切な想定と利用者視点での安全管理」を徹底します。併せて、危険な箇所は、迅速に対応し、関係者に速やかに開示し、二次災害防止に努めます。</p>
15 その他提案事項	「観点1. 効率化により指定管理の有効に活用した管理運営及び「観点2. 利用者満足度さらには、利用者増に資する管理運営」から、提案します。

- 注 1 公表時は、申請者名欄は団体種別のみ表示します。
- 2 A4判2枚程度で事業計画書の該当項目を要約すること。
- 3 自主事業を行う場合は、収支計画書欄に自主事業を合算した数値を記載すること。